

第五十九回 総会・研修会宣言文

北海道小学校長会は、結成以来、北海道小学校教育の充実・発展を指標とし、心豊かでたくましい子どもの育成に鋭意努力を続け、組織の総力を傾注して研究と実践を積み重ねるとともに、積極的な施策提言や要望活動を通し教育条件の整備・充実に努め、多くの成果をあげてきた。

今日、我が国は、知識基盤社会への新たな進展やグローバル化の進行とともに、世界に類を見ない速さで少子高齢化が進み、先を見通すことが難しい時代を迎えている。そのような社会の激しい変化に対応し、持続可能な発展を実現できる社会への転換を図るために、多様性を基調とした自立・協働・創造をキーワードとする生涯学習社会の実現が求められている。教育においては、教育再生実行会議の提言や中央教育審議会の答申への対応等、新たな時代の要請に応えるための教育改革のときを迎えている。

こうした中であって、学校においては、校長の明確なビジョンと鋭い時代感覚の下、組織の活性化を図り、確かな学力、豊かな心、健やかな身体などの調和を重視する「生きる力」を育む教育課程の編成・実施と、その評価・改善に努めなければならない。また、きめ細かで質の高い指導の充実、地域全体での学びの促進などにより、変化が激しく多様化が一層進行する社会を生き抜く力を身に付けさせるとともに、社会に参画するための実践的な力の育成が求められている。さらに、東日本大震災に伴う継続的な被災地支援や防災教育の更なる充実、いじめ・不登校等の生徒指導、教職員の資質・能力の向上、子どもと向き合う時間の確保など、対応すべき緊急かつ重要な課題が山積している。

このときにあたり、われわれ校長は、強い使命感をもち、指導力を発揮して、教職員の力量を高め、活力ある学校づくりを進めなければならない。同時に、学力・体力の向上やいじめ防止など本道教育の抱える喫緊の課題の解決を図る必要がある。これらのことを踏まえ、北の大地から世界を見つめ、新しい社会の形成に向けて挑戦する子どもを育む学校経営の推進を図るため、「未来を見据え、チーム北海道として進む道小」を掲げ各地区校長会や関係機関等との連携をより一層強化し、全道的な取組を通して課題解決に努め、以て、道民の負託と信頼に応えようとするものである。

本会は、ここに会員の総力を結集して、左記事項の実現に全力を尽くすことを、第五十九回北海道小学校長会総会・研修会の総意をもって宣言する。

記

- 一、英知と情熱を傾けて、教育の場に信頼と秩序を確立し、活力ある学校経営の推進に努める。
- 一、個性を生かし、心豊かにたくましく生きる力の育成を目指す社会に開かれた創意ある教育課程の編成・実施と、その評価と改善に努める。
- 一、学力及び体力の向上を図るとともに、これからの知識基盤社会で生きる変化に対応した実践的な力の育成に努める。
- 一、深い児童理解による時代に対応した生徒指導の充実と特別支援の充実に努める。
- 一、校長自らがその責務を自覚し研鑽に励むとともに、指導性を発揮して教職員の資質・能力の向上に努める。
- 一、家庭・地域社会との連携を密にした児童の安全・安心を保障する体制の整備・充実に努める。
- 一、北の大地から世界を見つめ、新しい社会の形成に向けて挑戦する子どもを育む教育研究活動を推進するとともに第五十九回北海道小学校長会教育研究小樽大会の充実と研究成果の交流に努める。
- 一、学校経営の専門職としての積極的な意見表明と情報発信に努める。
- 一、管理職・教職員の人的条件整備や処遇改善及び福利厚生の実施に努める。
- 一、教職員の定数改善のための要望活動の強化に努める。
- 一、北海道小学校長会の組織の強化と活動の充実、活性化に努める。
- 一、東日本大震災復興のため、被災地各県の校長との連携とその活動への継続的な支援、防災教育の推進に努める。

平成二十八年五月九日

第五十九回 北海道小学校長会総会・研修会